

## 教員の研究活動 2008年1～12月



### 大学校長

---

#### [著書]

田村やよひ(2008). 私たちの拠りどころ保健師助産師看護師法. 日本看護協会出版会, 東京.

田村やよひ(2008). 看護制度のこれまでの重要な改革, 看護師不足と人材確保法の制定, 看護サービスの場の拡大と専門性の拡大, 国際機関との連携, 経済連携協定と看護の国際化. 日本看護歴史学会編, 川島みどり, 草刈淳子, 氏家幸子, 高橋みや子監修, 日本の看護 120年—歴史をつくるあなたへ. 44-47, 63-68, 日本看護協会出版会, 東京.

#### [論文]

田村やよひ(2008). 保健師助産師看護師法と看護教育の課題. 保健の科学, 50(5), 302-306.

#### [講演・学会発表]

古橋美智子, 田村やよひ, 平林勝政(2008). 保健師助産師看護師法を読み解く(鼎談). 第13回日本看護サミットとうきょう'08, 東京, 11月.

#### [その他]

清水嘉与子, 田村やよひ(2008). “私たちの法律”は, こうしてつくられた. 看護, 60(9), 50-54.

スザンヌ・ゴードン, シオバン・ネルソン, 井部俊子, 勝原裕美子, 川島みどり, 陣田泰子, 田村やよひ, 東めぐみ他(2008). 看護の危機についてコンセンサスはあるか?. 看護実践の科学, 33(9), 70-78.

田村やよひ(2008). No83 保健師助産師看護師法(保助看法). 日本看護管理学会編, 看護管理用語集. 2008/7/30, [http://janap.umin.ac.jp/new\\_HP/yougo/mokuji.html](http://janap.umin.ac.jp/new_HP/yougo/mokuji.html).

### 人間科学(情報学)

---

#### [論文]

柏木公一(2008). 国際医療用語集 SNOMED-CT の成立と概要, 日本への影響. 情報管理, 51(4), 243-250.

柏木公一(2008). 電子カルテ導入の意義. 看護, 60(10), 40-43.

古庄夏香, 黒田裕子, 安藤敬子, 小田正枝, 林みよ子, 脇坂浩, 柏木公一, 山勢博彰, 伊東美佐江, 城戸滋里, 中木高夫, 棚橋泰之, 柳谷博幸, 岡崎寿美子, 中山栄純(2008). 電子カルテ稼働中の施設における看護師の思考過程の分析. 看護診断, 13(1), 5-12.

#### [講演・学会発表]

柏木公一(2008). 看護用語の標準化—最新の動向. 日本看護診断学会, 横浜, 7月.

柏木公一(2008). ISO TC215 WG3 の標準規格概説. 日本医療情報学会, 横浜, 11月.

#### [研究助成および研究成果報告書]

柏木公一(2008). 国際医療用語集を日本語で利用するための知識ベースの開発. 平成20年度文部科学研究費補助金.

岡田美保子, 横井英人, 小出大介, 柏木公一, 武隈良治, 土屋文人(2008). 国際化を踏まえた医薬品・医療機器の安全性情報の伝達に関する研究. 平成20年度厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業).

内藤智雄, 稲葉静代, 上野桂子, 柏木公一, 小島純司, 高田桂子, 中川奈緒美, 中安紘子, 野崎加世子, 荒川孝之(2008). IT活用による記録・帳票類の管理体制の在り方に関する研究. 平成19年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業).

### 人間科学(語学)

---

#### [論文]

Matsuoka, R., & Smith, I. (2008). Age effects in second language acquisition: Overview. *The Journal of Nursing Studies, National College of Nursing, Japan*, 7 (1), 33-40.

Evans, D. (2008). Reflections on peer evaluation in an English language course. *The Journal of Nursing Studies, National College of Nursing, Japan*, 7(1), 41-49.

[講演・学会発表]

Matsuoka, R., & Uchimura, M. (2008). *Encouragement in healthcare communication*. PanSIG conference, Kyoto, Japan, May.

Matsuoka, R. (2008). *Age effects in SLA*. AsiaTEFL conference, Bali, Indonesia, August.

Matsuoka, R. (2008). *Language relativity in RAKUGO translation*. The FIT World Congress, Shanghai, China, August.

Matsuoka, R. (2008). *Japanese and Thai college students' WTC and CA*. PAAL conference, HI, USA, August.

Matsuoka, R., & Smith, I. (2008). *Willingness to communicate and communication apprehension among Japanese college students*. AILA World congress, Essen, Germany, August.

[その他]

Matsuoka, R., & Smith I. (2008). Comparison of Japanese and Thai college students' WTC and CA. *Proceedings of PAAL*, 123-124.

Matsuoka, R.: reference reading (2008). An investigation of Chinese learners' English learning motivation. For *Asia TEFL journal*, 6(1).

---

## 人間科学(保健行政学)

[著書]

森山幹夫(2008). 法律と倫理. 日本染色体遺伝子検査学会編, 染色体遺伝子検査の分かりやすい説明ガイドラインⅡ. 21-30, 日本染色体遺伝子検査学会, 東京.

[論文]

森山幹夫(2008). 厚生省少子高齢社会看護問題検討会に示された改革方策の達成状況. 国立看護大学校研究紀要, 7(1), 65-69.

森山幹夫(2008). 資格と業務独占と名称独占. 保育界, 408, 32-33.

村上美佳, 森山幹夫(2008). 重症心身障害児(者)病棟における介護福祉職配置が患者の療養環境向上に与える影響. 医療の広場, 48(5), 18-21.

[講演・学会発表]

森山幹夫(2008). ゲノムから福祉と医療を語る. 独立行政法人国立病院機構香川小児病院小児医療学会, 香川, 2月.

森山幹夫(2008). 社会福祉と更生保護の連携. 法務省法務総合研修所, 東京, 6月.

森山幹夫(2008). 染色体・遺伝子検査分野における倫理と情報保護の見直しの動向. 日本染色体遺伝子検査学会, 香川, 11月.

---

## 人間科学(生命科学)

[講演・学会発表]

竹村玲子, 大塚文, 小嶋靖, 太田有子, 芦澤一英, 森川馨(2008). 海外の安全性情報にみられる市販後の医薬品の副作用. 第128回日本薬学会年会, 横浜, 3月.

芦澤一英, 小嶋靖, 大塚文, 太田有子, 竹村玲子, 森川馨(2008). 海外における医薬品安全性情報に関する最近の動向(2007医薬品安全性情報から). 第128回日本薬学会年会, 横浜, 3月.

今宮麻奈, 佐加野修一, 芦澤一英, 竹村玲子, 森川馨(2008). 自発報告に基づく大規模副作用症例データベース(AERS)を用いたHIV治療薬の解析. 第128回日本薬学会年会, 横浜, 3月.

森川馨, 廣瀬有紀子, 今宮麻奈, 高本哲義, 田崎武信, 竹村玲子(2008). 自発報告に基づく大規模副作用症例データベース(AERS)を用いた抗精神病薬の解析. 第128回日本薬学会年会, 横浜, 3月.

竹村玲子, 森川馨(2008). 海外規制機関情報における市販後の医薬品の副作用. 平成19年度厚生労働科学研究費補助金政策創薬総合推進事業研究成果発表会, 東京, 2月.

[研究助成および研究成果報告書]

竹村玲子(2008). 海外規制機関情報における市販後医薬品の副作用(分担研究). 医薬品の安全性監視と安全性監視計画立案のための医薬品安全性情報の解析, 評価に関する研究(主任研究者: 森川馨). 平成19年度厚生労働科学研究費補助金(政策創薬総合推進事業).

## 基礎看護学(看護基礎科学)

---

### [論文]

陳秀琴, 小西敏子, 丸口ミサエ, 濱本洋子(2008). 中国におけるがん性疼痛専門看護師育成に関する一考察. 国立看護大学校研究紀要, 7(1), 60-64.

### [講演・学会発表]

森那美子(2008). 看護師養成課程における生物災害教育に関する検討. 第13回日本集団災害医学会総会プログラム・抄録集, 403.

### [研究助成および研究成果報告書]

森那美子(2008). 看護師の生物災害に対する準備性および教育に関する研究. 平成19年度文部科学省科学研究費補助金(若手研究(B))研究成果報告書.

森那美子(2008). 看護師の生物災害に対する準備性および教育に関する研究. 平成20年度文部科学省科学研究費補助金(若手研究(B)).

切替照雄(主任研究員), 工藤宏一郎, 加藤はる, 中村浩幸, 大久保憲, 河野文夫, 西岡みどり, 網島優, 掛水智子, 吉田真由美, 菊池ひで子, 菊池喜博, 三木祐, 田中征雄, 原かおり, 富成伸次郎, 阿島美奈, 陰下敏明, 吉田弘之, 乾宏行, 大谷久美子, 岩井朝幸, 高須賀久美子, 佐藤穰, 加藤由紀恵, 佐野ありさ, 鬼塚聖子, 斉藤昭彦, 小林信一, 平松玉江, 八木哲也, 鈴木奈緒子, 前川裕子, 藤崎浩太郎, 島田知子, 菅原美絵, 三浦祥子, 加藤康幸, 竹下望, 高崎仁, 森兼啓太, 藤田烈, 坂木晴世, 窪田志穂, 黒田恵美, 森那美子(研究協力)(2008). 医療機関における感染症伝播に関する研究. 平成20年度厚生労働省科学研究費補助金による新興・再興感染症研究事業.

## 基礎看護学(基礎看護援助学)

---

### [講演・学会発表]

穴沢小百合, 吉満祥子, 松山友子(2008). 看護教員経験3年未満の看護教員が抱える教育実践上の課題. 第5回国立病院看護研究学会学術集会, 東京, 1月.

岸達也, 松山友子(2008). 新人看護師の職場適応の促進に焦点を当てた研究の現状—2002年から2006年までの国内文献の研究内容の分析を通して—. 第6回国立病院看護研究学会学術集会, 仙台, 12月.

小林咲子, 松山友子(2008). 実習指導者との関わり後の看護学生の受け止めと学習活動の特徴. 第5回国立病院看護研究学会学術集会, 東京, 1月.

松山友子, 穴沢小百合, 吉満祥子(2008). 看護師が看護記録の記載において直面する問題の解明—SOAP記録導入施設に焦点を当てて—. 第5回国立病院看護研究学会学術集会, 東京, 1月.

高橋智子, 田代公美, 角諒子, 松山友子(2008). 退院後のオストメイトが初回ストーマ外来受診までに直面した困難及びストーマケアの現状の解明—看護記録を用いた調査から—. 第6回国立病院看護研究学会学術集会, 仙台, 12月.

田島智子, 松山友子(2008). 看護学実習における実習指導者の関わりとそれによる学生の反応に焦点を当てた研究の現状—1997年から2006年までの国内文献の研究内容の分析を通して—. 第6回国立病院看護研究学会学術集会, 仙台, 12月.

土屋善規, 松山友子(2008). 生体を用いた注射の演習における看護学生の経験. 第5回国立病院看護研究学会学術集会, 東京, 1月.

吉満祥子(2008). 過去5年間のわが国の看護師が行う摂食・嚥下リハビリテーションの実践に関する研究内容に焦点を当てた研究の現状. 第5回国立病院看護研究学会学術集会, 東京, 1月.

## 基礎看護学(看護教育学)

---

### [著書]

亀岡智美(2008). 看護学教員のロールモデル行動の日米比較. 国立大学法人千葉大学大学院看護学研究科千葉大学21世紀COEプログラム日本文化型看護学の創出・国際発信拠点(代表:石垣和子). 日本文化型看護学への序章—実践知に基づく看護学の確立と展開. 37-39, 国立大学法人千葉大学大学院看護学研究科千葉大学21世紀COEプログラム日本文化型看護学の創出・国際発信拠点(代表:石垣和子), 千葉.

### [論文]

亀岡智美, 舟島なをみ, 野本百合子, 村上みち子, 鈴木美和(2008). FDの企画運営に携わる看護学教員が直面している活動上の問題—看護系大学・短期大学の面接調査を通して—. 日本看護研究学会雑誌, 31(5), 57-62.

亀岡智美, 舟島なをみ(2008). 病院に就業する看護職者が職業上直面する問題とその特徴. 国立看護大学校研究紀要, 7(1), 18-25.

#### [講演・学会発表]

- 中原博美, 亀岡智美(2008). 新人看護師の職業的成熟度に関する研究—現状および職業継続意思との関係. 日本看護研究学会雑誌, 31(3), 162.
- Kameoka, T., Funashima, N., Nakayama, T., Suzuki, M., Nomoto, Y., & Yoshitomi, M. (2008). *Problems that hospital nurses encounter in Japan from the viewpoint of work position: Toward developing effective continuing education programs in nursing*. 19<sup>th</sup> International Nursing Research Congress Focusing on Evidence-Based Practice, Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing, Singapore, July.
- Miyashiba, T., Funashima, N., Miura, H., & Kameoka, T. (2008). *The relationship between personal attributes and quality of teaching behaviors of nursing faculty in nursing skills laboratories on campus in Japan*. 19<sup>th</sup> International Nursing Research Congress Focusing on Evidence-Based Practice, Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing, Singapore, July.
- Yoshitomi, M., Funashima, N., Miura, H., & Kameoka, T. (2008). *The relationship between preceptor role performance for new graduate nurses and preceptors' attributes in Japan*. 19<sup>th</sup> International Nursing Research Congress Focusing on Evidence-Based Practice, Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing, Singapore, July.
- Gorzka, P., Funashima, N., Hongo, K., Kameoka, T., Miura, H., Yamashita, N., Nakayama, T., Sugimori, M., & Murakami, M. (2008). *Role model behaviors of nursing faculty in the United States and Japan, toward enriching faculty development*. Education Summit 2008, National League for Nursing, San Antonio, TX, U.S.A, September.

#### [その他]

- 亀岡智美(2008). 「新人看護師支援のための研究成果活用と課題」—シンポジウムの司会にあたって. 看護教育学研究, 17(2), 17.
- 亀岡智美監修(2008). 「看護研究」の基本. Nursing College, 12(12), 86-90.

## 基礎看護学(看護管理学)

---

#### [論文]

- Chiang-Hanisko, L., Ross, R., Boonyanurak, P., Ozawa, M., & Chiang, L. (2008). Pathways to progress in nursing: Understanding career patterns in Japan, Taiwan and Thailand. *OJIN: The Online Journal of Issues in Nursing*, 13(3), Manuscript 4.
- 坂木晴世, 西岡みどり(2008). 先進国における臍炎予防に有効な臍帯脱落および臍窩の乾燥を促進する臍帯ケア方法に関する文献検討. 国立看護大学校研究紀要, 7(1), 26-32.
- 坂木晴世, 西岡みどり(2008). [小児科領域の院内感染]感染対策チーム, 感染管理看護師. 小児科, 49(5), 541-544.

#### [研究助成および研究成果報告書]

- 西岡みどり(2008). 分担研究報告書, 病院施設の規模別の感染対策の実態調査(分担研究). 医療機関における感染症伝播に関する研究(主任研究者:宮崎久義). 平成19年度厚生労働科学研究費補助金による新興・再興感染症研究事業.
- 西岡みどり(2008). 病院施設の規模別の感染対策の実態調査(分担研究). 医療機関における感染症伝播に関する研究(主任研究者:宮崎久義). 平成20年度厚生労働科学研究費補助金による新興・再興感染症研究事業.

#### [その他]

- 西岡みどり(2008). [総説 周産期医療における感染対策] 2 看護の立場から. *CARLISLE*, 13(3), 2-3.

## 成人看護学

---

#### [著書]

- 綿貫成明(2008). せん妄. 金川克子監修, 田高悦子, 河野あゆみ編著, 老年症候群別看護ケア関連図&ケアプロトコル. 168-185, 中央法規出版, 東京.

#### [論文]

- 飯野京子, 岡本隆行, 小熊亜希子, 小西敏子, 島崎たか子, 鈴木真理子, 須原弥生, 瀬戸てるみ, 丸口ミサエ(2008). 看護基礎教育における「がん看護学」に関する教育評価. 国立看護大学校研究紀要, 7(1), 50-59.
- 陳秀琴, 小西敏子, 丸口ミサエ, 濱本洋子(2008). 中国におけるがん性疼痛専門看護師育成に関する一考察. 国立看護大学校研究紀要, 7(1), 60-64.
- Koyama, Y., Miyashita, M., Irie, S., Yamamoto, M., Karita, T., Moro, T., Takatori, Y., & Kazuma, K. (2008). A study of disease management activities of hip osteoarthritis patients under conservative treatment. *Journal of Orthopaedic Nursing*, 12(2), 75-83.
- 浅野友美, 三好茂奈, 瀧典子, 石井智香子, 稲垣順子(2008). 糖尿病性腎症で透析導入期にある患者の体験. 第38回日本看護学会論文集(成人看護Ⅱ), 163-165.

河田美絵子, 植田奈々, 藤田佳子, 稲垣順子, 石井智香子(2008). 糖尿病性腎症で透析をしている患者の配偶者の体験. 第38回日本看護学会論文集(成人看護Ⅱ), 138-139.

**[講演・学会発表]**

綿貫成明(2008). エビデンスに基づいたせん妄ケア—予防法と対処法. 広島大学医学部附属病院看護部研修, 広島, 8月.  
綿貫成明(2008). せん妄ケア—有効な予防法と対処法. 石川県看護協会, 8月.  
綿貫成明(2008). せん妄ケア—有効な予防法と対処法. 鹿児島県看護協会, 9月.  
綿貫成明(2008). せん妄ケア—有効な予防法と対処法. 新潟県看護協会, 11月.  
平木尚美, 大町弥生, 綿貫成明, 坂東正己, 山田一郎(2008). ヒーリングベビーを用いたコミュニケーション場面におけるスタッフの介入内容と認知症高齢者の反応. 日本看護研究学会雑誌, 31(3), 305.  
綿貫成明, 酒井郁子, 松川仙奈(2008). 成人老年期にある患者の術後せん妄に関連する素因子・直接因子・誘発因子と発症パターン. 第28回日本看護科学学会学術集会講演集, 264.  
山川聖史, 小山友里江, 穂積高弘, 宮山祐, 秋山宏一郎, 田中健之, 飯島準一, 五嶋孝博, 近藤泰児(2008). FACT-Gを用いた転移性脊椎腫瘍に対する術中照射療法のQOL調査. 第57回東日本整形災害外科学会雑誌, 20(3), 389.

**[研究助成および研究成果報告書]**

小山友里江(分担研究者)(2008). 運動器機能障害の評価に関する研究. 平成19年日本メディカルマテリアル株式会社受託研究報告書.

**[その他]**

小山友里江, 宮下光令, 数間恵子, 高取吉雄(2008). 変形性股関節症のADLとQOL 寛骨臼回転骨切り術(RAO)を受けた患者の生活. *Journal of Clinical Rehabilitation*, 17(4), 344-349.

---

## 成育看護学(小児看護学)

**[著書]**

駒松仁子(2008). 小児の発達課題と小児生活習慣病指導の基本. 松下竹次, 萬弘子編, 生活習慣病ナーシング7. 269-275, メヂカルフレンド社, 東京.  
駒松仁子(2008). キャリーオーバーと成育医療, そして成育看護. 松下竹次監修, 駒松仁子編, キャリーオーバーと成育医療—小児慢性疾患患者の日常生活の向上のために. 2-7, へるす出版, 東京.

**[論文]**

中村伸枝, 遠藤数江, 荒木暁子, 小川純子, 佐藤奈保, 金丸友(2008). 幼児と母親の生活習慣の実態と, 母親の健康に関する認識. 千葉大学看護学部紀要, 30, 25-29.

**[講演・学会発表]**

金丸友, 中村伸枝, 出野慶子, 遠藤数江(2008). 糖尿病をもつ学童後期・思春期の子どものフットケアに対する支援の検討. 日本糖尿病教育・看護学会誌, 12(特別号), 226.  
中村伸枝, 遠藤数江, 荒木暁子, 小川純子, 佐藤奈保, 金丸友, 出野慶子(2008). 子育て支援センターを利用した幼児をもつ母親の健康・生活習慣への関心を高める看護活動. 第55回日本小児保健学会講演集, 121.

**[その他]**

駒松仁子(2008). 小児慢性疾患のキャリーオーバーと成育医療そして成育看護. 岡山県小児科医会会報, 29, 46-53.  
駒松仁子(2008). 「母と涙の二等分」がモットーの三田谷啓. さぼーと, 620, 46-50.

---

## 成育看護学(母性看護学)

**[論文]**

Sawai, S., Takai, Y., Saegusa, K., Yoshioka, T., & Fukunaga, T. (2008). Levels of muscular activity in different parts of the body during basic nursing action. *International Journal of Sport and Health Science*, 6, 1-14.

---

## 精神看護学

**[著書]**

天谷真奈美(2008). 医療保険制度の仕組み. 訪問看護. 在宅サービス. 野中猛監修, 植田敏幸, 佐々木明子編, 精神保健制度ガイド. 26-27, 56-57, 78-79, 中山書店, 東京.

阿部由香(2008). 診療報酬の体系. 診療報酬の決まり方. 診療報酬制度. 支払い方式. 野中猛監修, 植田敏幸, 佐々木明子編, 精神保健制度ガイド. 28-35, 中山書店, 東京.

田中留伊(2008). 初診料. 再診料. 調剤料. 紹介状. 入院基本料. 特定入院料. リハビリテーション料. 野中猛監修, 植田敏幸, 佐々木明子編, 精神保健制度ガイド. 36-47, 中山書店, 東京.

田中留伊(2008). 行動制限. 川野雅資編著, 精神科看護ケア関連図. 208-215, 中央法規出版, 東京.

#### [論文]

天谷真奈美, 鈴木麻揚, 柴田文江, 阿部由香, 田中留伊, 大迫哲也, 板山稔(2008). 統合失調症者の社会参加自己効力感を促進する要因. 国立看護大学校研究紀要, 7(1), 1-8.

三津山恵子, 古澤典子, 鬼塚希, 古川真理, 春山知子, 千田真子, 篠原美智子, 福田紀代美, 阿部由香(2008). 内科病棟におけるせん妄患者の実態調査. 第38回日本看護学会論文集(看護総合), 228-231.

小林久美子, 大谷津香, 増田圭子, 田島美奈子, 吉田美代子, 阿部由香(2008). 血液疾患患者との関わりの中で看護師が抱く不全感の緩和を目的とした取り組み—事例検討会開催による検証. 第38回日本看護学会論文集(成人看護II), 368-370.

#### [講演・学会発表]

Amagai, M., Suzuki, M., Shibata, F., Abe, Y., Kobayashi, N., Sekine, T., Campbell, K., & Kayaba, K. (2008). *Standardization of the self-efficacy for social participation for people with psychiatric disabilities (SESP-27)*. The 10<sup>th</sup> International Congress of Behavioral Medicine, Tokyo, Japan, August.

Suzuki, M., Amagai, M., Shibata, F., Abe, Y., Kobayashi, N., Sekine, T., Campbell, K., & Kayaba, K. (2008). *Comparison of self-efficacy for social participation between competitively and non-competitively employed consumers with psychiatric disabilities*. The 10<sup>th</sup> International Congress of Behavioral Medicine, Tokyo, Japan, August.

山口朝子, 天谷真奈美, 関根正(2008). 精神疾患患者が認識するよい看護に関する研究. 第39回日本看護学会(精神看護), 兵庫, 8月.

阿部由香(2008). 内科系疾患患者の健康維持行動に関連した7つの観念についての面接調査. 第18回日本医学看護学教育学会学術学会抄録集, 22.

阿部由香(2008). 精神障害者通所授産施設利用者の日常生活における困難さに関する認識. 第16回精神科リハビリテーション学会学術学会, 東京, 11月.

高橋久美子, 千田貴子, 小西奈美, 板山稔, 久保田東司, 森田慎一, 田中留伊(2008). 医療観察法鑑定入院における看護の現状と役割—病棟看護師間での話し合いの内容から. 第5回国立病院看護研究学会学術集会, 東京, 1月.

田中留伊, 森千鶴(2008). 覚せい剤精神病患者に対する断薬への援助—6ステップメソッドを応用して. 日本看護研究学会誌, 31(3), 250.

須藤淳, 石崎有希, 山田洋, 藤森里美, 田中留伊, 森千鶴(2008). 医療観察法における看護師による疾患教育導入プログラムの効果. 日本看護研究学会誌, 31(3), 250.

田中留伊, 瀧口宗宏(2008). 高等学校における規制薬物を乱用する生徒への対応の現状. 日本アディクション看護学会第7回学術大会, 東京, 12月.

緒方正通, 田中留伊, 板山稔(2008). 精神看護学実習の満足感とその影響因子に関する研究—アンケートによる成人看護学実習との比較. 第6回国立病院看護研究学会学術集会, 仙台, 12月.

佐藤靖子, 田中留伊, 板山稔(2008). 児童精神科病棟の看護師が子どもとの関わりで抱く感情と関連要因. 第6回国立病院看護研究学会学術集会, 仙台, 12月.

#### [研究助成および研究成果報告書]

天谷真奈美, 鈴木麻揚(2008). 精神障害者の社会参加効力感尺度簡易版の開発と日米間比較. 平成20年度科学研究費補助金事業.

田中留伊(2008). 規制薬物を乱用する生徒への対応における学校と警察の連携(分担研究). 薬物需要削減対策における関係機関の連携(班長: 富永格, 統括責任者: 平井慎二). 平成20年度厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業).

#### [その他]

瀧口宗宏, 田中留伊, 乗田朋英(2008). 規制薬物を乱用する生徒への対応における学校と警察の連携(分担研究). 平成19年度厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)薬物需要削減対策における関係機関の連携(班長: 富永格, 統括責任者: 平井慎二)公開検討会, 東京, 2月.

## 老年・在宅看護学(老年看護学)

---

### [論文]

佐藤鈴子, 林稚佳子, 濱本洋子, 会田玲子, 住垣千恵子, 水野正之(2008). 地域居住の自立高齢者における体力と体力自覚・主観的幸福感. 国立看護大学校研究紀要, 7(1), 9-17.

## 老年・在宅看護学(在宅看護学)

---

### [論文]

佐藤鈴子, 林稚佳子, 濱本洋子, 会田玲子, 住垣千恵子, 水野正之(2008). 地域居住の自立高齢者における体力と体力自覚・主観的幸福感. 国立看護大学校研究紀要, 7(1), 9-17.

### [その他]

俵麻紀, 高井綾子, 高井直子(2008). 教育実践 患者に学ぶコミュニケーション ALS患者・家族とともに行なう文字盤を用いた授業の実際. 看護実践の科学, 33(11), 68-75.

Young, L. E., & Hayes, V. (2001) / 高野順子, 北山秋雄監訳, 川井八重, 北山秋雄, 北山三津子, 嶋澤順子, 高野順子, 俵麻紀, 坪内美奈, 永島すみえ, 原大介, 福元ゆみ, 松下光子, 安田貴恵子(2008). ヘルスプロモーション実践の変革—新たな看護実践に挑む. 日本看護協会出版会, 東京.

## 国際看護学

---

### [著書]

樋口まち子(2008). 災害看護と異文化理解. NPO 災害人道医療支援会(HuMA)災害看護研修委員会編, グローバル災害看護マニュアル 改訂版. 真興交易医書出版部, 東京.

### [論文]

Higuchi, M. (2008). Integration complementary medicine into community health system. *Proceeding of Qualitative Health Research*, 1, 37.

### [講演・学会発表]

樋口まち子(2008). 保健師助産師看護師学校養成所の指定規則等改正に向けて—統合分野(国際看護)について. 平成19年度専任教員再教育研修, 水戸, 3月.

樋口まち子(2008). シンポジスト, 看護実践能力の向上をめざした看護教育: 国際看護. 平成20年国立病院機構付属看護助産学校副学校長・教育主事・教員夏期研修会プログラム, 東京, 8月.

樋口まち子(2008). 国際協力と異文化理解. 国際災害看護研修, 東京, 11月.

樋口まち子(2008). 国際看護教育の目的と意義について. 国際看護交流協会国際看護教育コース, 東京, 11月.

樋口まち子(2008). 国際看護活動と異文化理解. 国際看護交流協会国際看護教育コース, 東京, 11月.

Higuchi, M. (2008). *The case of low birth rate in Japan*. The 17<sup>th</sup> International Council on Women's Health Issues, Botswana, July.

Higuchi, M. (2008). *Primary health care through nursing perspectives*. Joint Conference of the 49<sup>th</sup> Annual meeting of Japanese society of tropical medicine and the 23<sup>rd</sup> Annual meeting of Japanese association for international health, Tokyo, October.

Higuchi, M. (2008). *Integration of complementary medicine into community health system*. The 14<sup>th</sup> Qualitative Health Research Conference, Alberta, October.

### [研究助成および研究成果報告書]

樋口まち子(2008). 高齢化に応じた地域医療システムにおける代替医療プログラム開発. 平成17～19年度文部科学研究費補助金(萌芽研究)研究成果報告書.

樋口まち子(2008). 開発分野におけるケースメソッドの展開—ニーズに基づく国際連携を目指して(分担研究). 文部科学研究費補助金基盤研究(平成18～20年度).

樋口まち子(2008). 発展途上国の看護職等人材養成及び看護サービスの実態調査(分担研究). 平成20年度厚生労働省国際医療協力研究委託事業.